

索引について

- ・本索引は、「50音順索引」「語句別索引」「意味別索引」「レベル別索引」の4種類がある。
- ・「50音順索引」について；この索引は、すべての文型を50音順に配列したものである。本書の文型は50音順に並べられているので、文型の検索はこの索引を利用するのが簡便である。
 - 〈注意〉(1) 「か」「で」「と」「に」「は」「を」等の助詞で始まる文型（例；～という）は、これらの助詞を含む形を見出し項目としているので、それぞれ「か」「で」「と」…の所で検索できる。
 - (2) 動詞の意志形を含む文型（例；～〈よ〉うか～まいか）は、「う」の所で検索できる。
 - (3) 接続情報を示す「～た／の」は、これを含んだ形で見出し項目とはしていない。したがって、「～た／の　うえ」の文型は「う」の所で検索できる。
- ・「語句別索引」について；この索引では、「いう」「こと」「する」「ては」「と」「ない」等の重要な語句を含む文型を検索するために、これらの語句を50音順に配列したものである。例えば、「いう」の項を見れば、「～という」「～からといって～（ない）」「～といえは」等、本書に取り上げられている、「いう」を含むすべての文型が検索できる。
- ・「意味別索引」について；この索引は、すべての文型を意味別にまとめたものである。
 - 文型 No.「1-〇〇」とあるものは、主題・時間・空間・程度・範囲等を表す文型のグループであり、句と句の関係に係わるものである。
 - 文型 No.「2-〇〇」とあるものは、条件・視点等を表す文型のグループであり、文と文の関係に係わるものである。
 - 文型 No.「3-〇〇」とあるものは、希望・判断・推量・意見・評価等を表す文型のグループであり、話し手の主観的な表現に係わるものである。
 - 文型 No.「4-〇〇」とあるものは、提案・許可等を表す文型のグループであり、聞き手への働きかけに係わるものである。
- ・「レベル別文型」について；「初中」「中」「中上」の3つのレベル別にグループ化したものである。「初中」の文型は初級の後半から中級にかけての学習者を、「中」の文型は中級前半から後半にかけての学習者を、「中上」は中級後半から上級の学習者を対象とする文型である。
- ・その他；①「表／理」の項で、「理解」とある文型は、「理解文型」の意味であり、「表現」というのは「表現文型」の意味である。
 - ②「文体」の項で、「口頭×」とある文型は、主として文章をかくときに使われる文型であり、日常会話では使いにくい文型である。「文章×」とある文型は、会話的な文型で、レポートを書くときなどは用いないほうがよい文型である。空欄になっているものは、口頭表現・文章表現のいずれにも用いられる文型である。
 - ③「ページ」の項で、「1-〇〇」は『中級文型集Ⅰ』のページを示し、「2-〇〇」は『中級文型集Ⅱ』のページを示す。「レベル」「表／理」の項で＊を付したものは、文型として適当であるかどうかを検討中のものである。